

→ UO スキル / 調教使役

PDFJ::Text=HASH(0xb7810700) 牧羊

- ・ 難易度制
- ・ スキル遅延なし
- ・ プライマリステータス：INT
- ・ セカンダリステータス：DEX
- ・ 教えてくれる NPC：Rancher、Shepherd

このスキルはクリーチャーを指定したポイントに移動させます。移動先としてクリーチャーを指定すれば、それについていくようになります。それだけと言えればそれだけのスキルですが、実は動かせるクリーチャーの数に制限がありません。だから移動先に自分を指定して動き回れば、大量の動物を連れてハーメルンの笛吹き状態になります。

自分をタゲったモンスターでも「牧羊」は可能ですが、そのタゲを外せるわけでも命令が出せるわけでもありません。だから、近寄れば攻撃を受けます。連れ歩こうとすると、がぶがぶ噛み付かれるというわけですね。

実際にスキルを使う時は crook(羊飼いの杖)を持ち(装備の必要はなく、バックパックの中に入れていればOKです)、それをダブルクリックします。そして移動させたいクリーチャーをターゲットした後、移動先のポイントをターゲットします。

難易度はティム難易度と同等になります。だから、自分のスキルに応じた難易度の動物を「牧羊」しまくることでスキルは上がります。同じ対象に対して、何度もスキルを使って上げられます。この時は「LastSkill」または UseSkill-Herding → WaitForTarg → LastTarget というマクロを組み、最初は普通にスキルを使用した後は、そのマクロを連打して問題なく上がります。移動先指定のターゲットが出ていても、新たにスキルを使えば対象を選ぶターゲットが可能になるからです。アンチマクロコードがなくなったおかげで、相手が1匹いれば、とことんまでスキル上げが出来るようになりました。

最初は適度な動物を1匹自分についていかせるように「牧羊」を繰り返し、最終的には unicorn や ki-rin を対象にしてスキルを使えば、GM まで割と簡単に上がります。ので、変わったことに挑戦したくなった時の参考にしてください。

・あまり使い道が無いように感じるかもしれませんが、ティムしたいモンスターを一本釣りしたり、プラスカルマのモンスターを何匹もつれてボディガードにしたり、と意外に使い勝手がよかったです。

現状では、何匹でも自分についていかせることが可能なので、イルシェナーの天使湧きなどで大量に出現した ki-rinなどを連れ歩けば、その付近の威力制圧が十分に可能です。Abyss にいる "黒閣下" こと balron のところまで連れて行って、無事に打ち倒した猛者もいるくらいです。

ヨモツ坑道の奥底に住む fire beetle をティムするとき、「隠密」で隠れながら「牧羊」することで、実に安全に入り口付近まで引っ張ってこれます。奥底でティムするよりは遥かに安全といえますね。

ところで、なぜこのようなスキルがあるのでしょうか？ その理由はUOの元になった「ウルティマIV」で仲間になるキャラクターの中に「羊飼い」がいたためと思われます(アバタール・コンパニオンの一人カタリナの事です)。ウルティマの世界において、重要な役割の一つとされて

いたのですね。だから「ウルティマ」の名が冠せられる限り、このスキルは存在し続けることでしょう。

→ UO スキル / 調教使役
